

岡山県産業廃棄物実態調査結果（平成14年度実績）について

平成14年度における岡山県内の産業廃棄物の発生、処理状況等の実態を次のとおり調査し、推計した。

1 調査方法

産業廃棄物を年間1,000t以上発生する多量排出事業者約200社及び処理業者330業者の平成14年度処理実績報告などをもとに、平成14年度における県内の実態を推計した。

2 調査結果

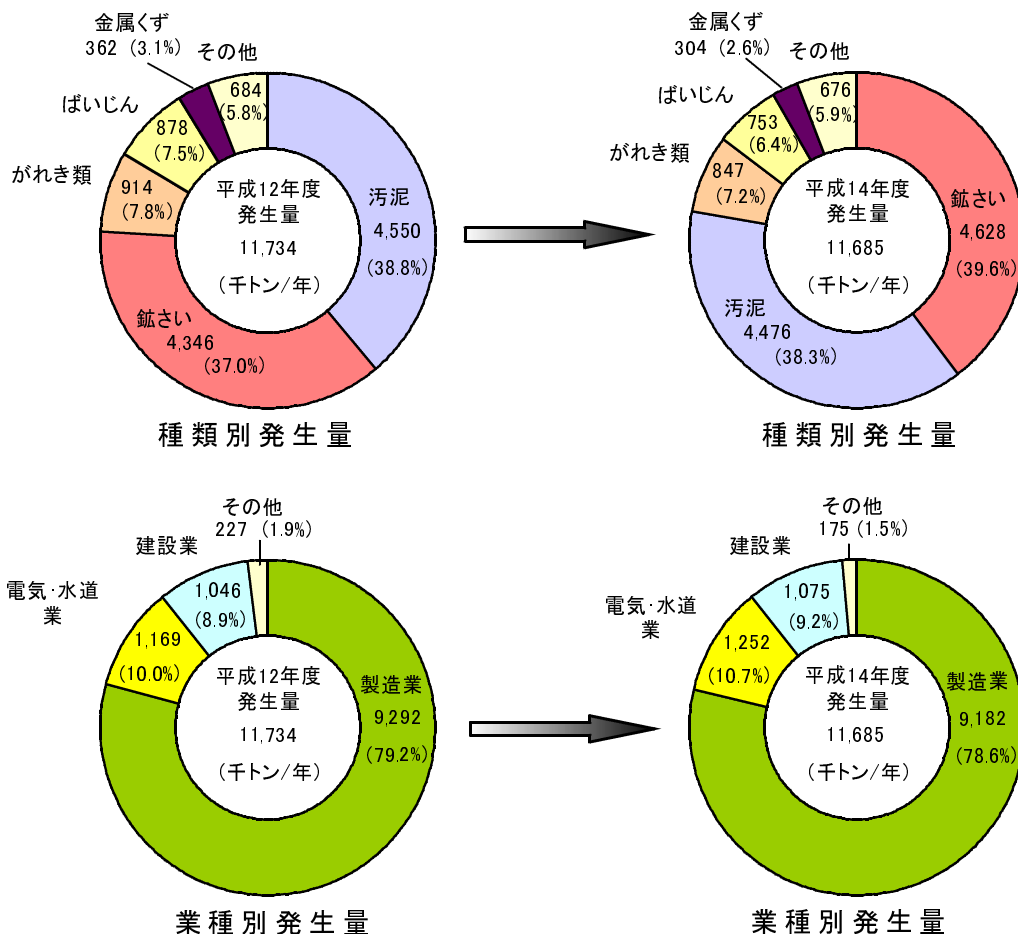
(1) 調査対象期間

平成14年4月1日～平成15年3月31日

(2) 発生状況

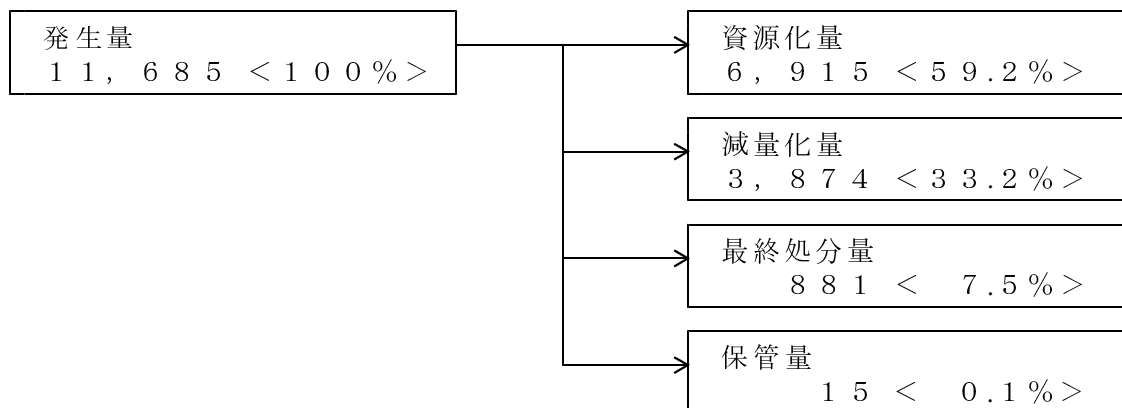
平成14年度に県内で発生した産業廃棄物は11,685千tで、岡山県産業廃棄物処理計画の基準年である平成12年度の11,734千tと比べ概ね横ばいである。

平成14年度の発生量を種類別に見ると、鉱さいが4,628千t（39.6%）と最も多く、次いで汚泥（38.3%）が多い。業種別では製造業が全体の78.6%を占める。



(3) 処理状況

発生した産業廃棄物 11,685 千 t のうち、再生利用などにより資源化されたものは 6,915 千 t、脱水や焼却等の中間処理により減量化されたものは 3,874 千 t、埋立により最終処分されたものは 881 千 t となっている。



3 岡山県廃棄物処理計画(平成13年度～17年度)の目標値に対する達成状況

(1) 発生量

平成14年度の発生量は、平成17年度の目標量に比べてなお678千 t 多く、さらに抑制する必要がある。

(2) 資源化・減量化量

平成14年度の資源化率及び減量化率とも平成12年度に比べ増加しているが、目標率達成に向けてさらに0.2ポイント増加させる必要がある。

(3) 最終処分量

平成14年度の最終処分量は881千 t (最終処分率7.5%) と、平成12年度に比べ124千 t 減少する等、減少傾向にあるが、目標量達成に向けて資源化・減量化を促進し、さらに、73千 t 減少させる必要がある。

	平成9年度	平成12年度	平成14年度	平成17年度 目 標
発 生 量	11,067<100%>	11,734 <100%>	11,685 <100%>	11,007 <100%>
資源化・減量化量	9,552<86.3%>	10,715 <91.3%>	10,789 <92.4%>	10,186 <92.6%>
資源化量	5,970<53.9%>	6,826 <58.2%>	6,915 <59.2%>	6,565 <59.7%>
減量化量	3,582<32.4%>	3,889 <33.1%>	3,874 <33.2%>	3,620 <33.0%>
最 終 処 分 量	1,498<13.5%>	1,005 <8.6%>	881 <7.5%>	808 <7.3%>
保 管 量	17<0.2%>	13 <0.1%>	15 <0.1%>	13 <0.1%>

